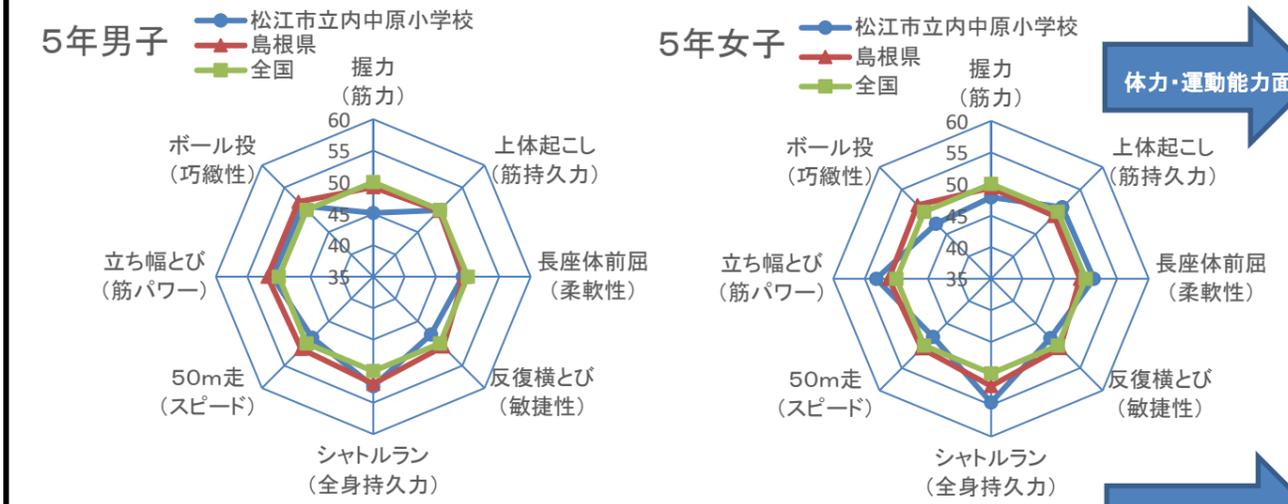
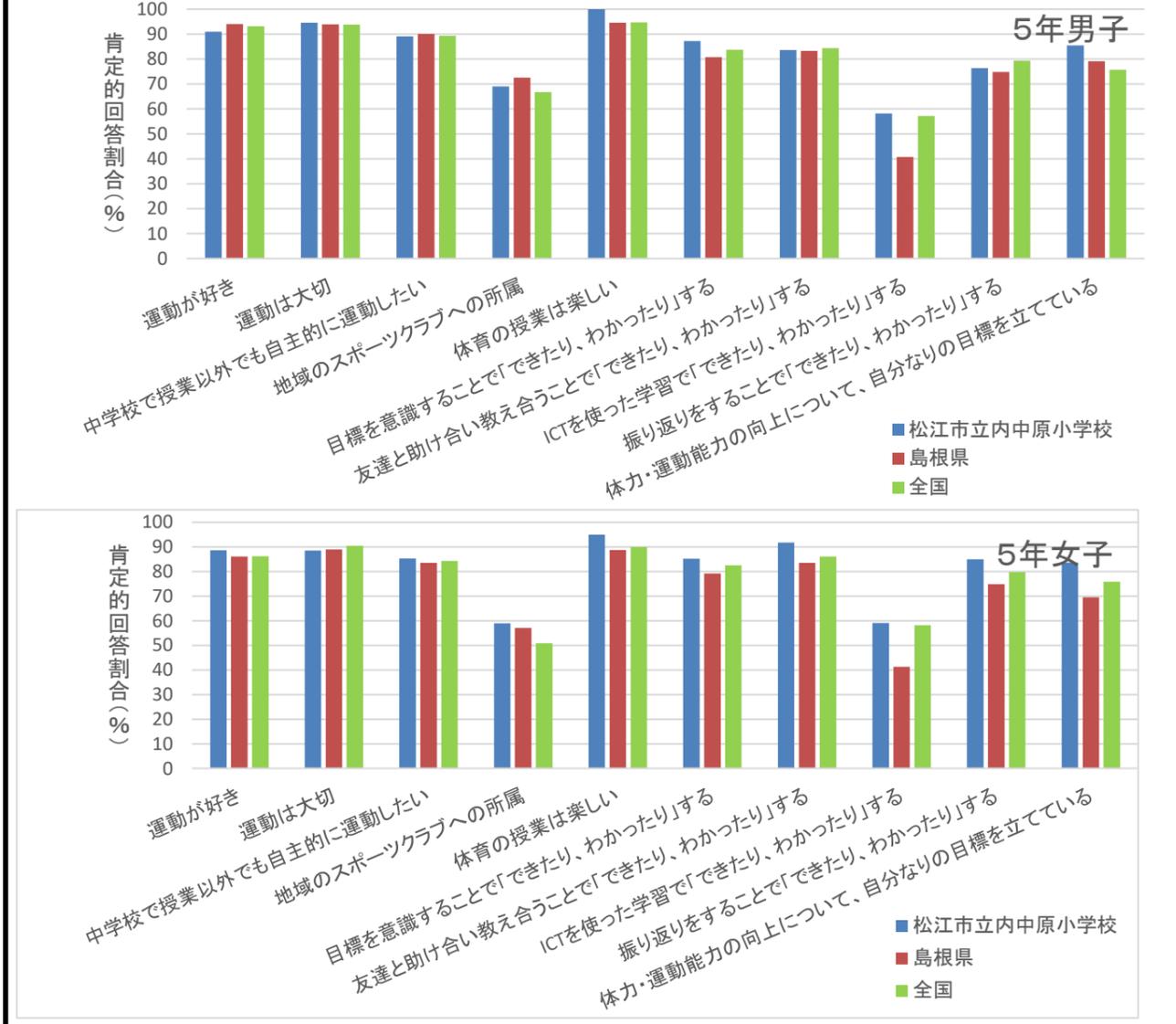


(1) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力(筋力)	上体起こし(筋持久力)	長座体前屈(柔軟性)	反復横とび(敏捷性)	シャトルラン(全身持久力)	50m走(スピード)	立ち幅とび(筋パワー)	ボール投(巧緻性)
男子	-4.9	-0.1	-0.8	-2.0	2.4	-1.3	1.0	0.9
女子	-2.1	1.0	1.3	-1.7	4.6	-2.0	3.2	-2.7

偏差値帯: [-5p以上] (弱み), [-5~-2p], [-2~0p], [0~2p], [2~5p], [5p以上] (強み)

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	-2.2	0.8	-0.2	2.4	5.3	3.6	-0.8	1.0
女子	2.4	-1.9	1.0	8.1	5.0	2.7	5.7	0.9

意識調査項目: 振り返りをする中で「できたり、わかったり」する (男子: -3.0, 女子: 5.2) / 体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている (男子: 9.8, 女子: 7.7)

割合帯: [-7%以上] (弱み), [-7~-3%], [-3~0%], [0~3%], [3~7%], [7%以上] (強み)

(3) 令和7年度の方針【学校全体での取組】

- 年間を通じた取組
 - 学年で統一した運動に継続して取り組み、体力・体感覚の向上に努める。
 - 委員会活動とタイアップし、仲間とのレクリエーションを通して運動を楽しむ機会を設ける。
 - 体育授業において「25分以上の運動時間確保」を目標に、授業運営についての情報交換を図る。
- 授業の工夫・改善
 - 体育の学習に役立つ資料やワークシート等を共有フォルダーに保存し、どの授業でも児童が安全に楽しく学習に取り組むことができるようにする(継続)。
 - 投運動の強化が必要。場所の制約や母体の多さから投運動に取り組む機会が少ないことが原因だと考えられる。体育授業における強化週間(ボール運動・ジャベボール・玉入れ用玉の活用)を設ける。
- 学園や家庭との連携
 - 体力向上推進計画をもとに、成果のあった取組に継続して取り組む。
 - 体力テスト結果配付を機に、各家庭でも子どもたちの体力について考えてもらう機会を設ける(継続)